○火事に備える

地震や風水害とちがって、火事は油断や不注意からおこることが多く、日頃から「火の用心」することによって防ぐことができます。

＊火事をださない＊

マッチやライターなどを使って火遊びや子どもだけのたき火・花火などはやめましょう！

＊避難するときは＊

火事でこわいのは「煙」です。煙のなかでは前が見えなくなり逃げ道が分からなくなります。煙の中は、姿勢を低くしてタオルやハンカチを口と鼻にあてながら煙を吸わないように避難します。

避難のときは・・・

おさない　**か**けない　**し**ゃべらない　**も**どらない

煙の性質

煙は天井などに一時的にたまり、そこから徐々に下に降りてきます。

有毒ガスを含んでいるため煙を吸うと体が動かなくなったり、死につながることもあり大変危険です。

＊消火器の使い方＊

すばやい消火が火災の被害を小さくします。
消火器の使い方を覚えておきましょう。

防災センターで煙体験ができますよ！

1．安全ピンを上に抜きます

2．ホースの先を火元に向けます

3．レバーを握ります

○地震に備える

私たちの住む和歌山県では、今まで約100年から150年に一度大きな東南海・南海地震がおこって、たくさんの人が亡くなり、多くの建物が壊れました。

この大きな地震は、今後30年以内に東南海が70%程度、南海地震が60%程度の確率でおこると言われています。

また管内には根来断層や桜池断層などの活断層が通っており、地震がおこると大きな被害を受けると予想されます。

＊大きな地震に備えよう＊

必要な物を、目のつきやすい場所（リュックなどに入れて）にまとめて、いつでも持ち出せるように準備しておくことが大切です。

非常持ち出し袋には…

ヘルメット（防災ずきん）、懐中電灯、電池、薬
貴重品、ライター（マッチ）、タオル、衣類、
飲料水、食料品、筆記用具、笛、洗面用具、
軍手、ティッシュペーパー、携帯ラジオなど

非常食などは防災センターで展示しているよ！

「ぼうさいなまず号」で地震体験！

＊地震がおこったら＊

学校や家庭、また建物の中では写真のように落下してくる物から身をまもります。

＊避難場所について＊

外で遊んでいる時など、先生や保護者と離れている時に地震が起こった場合に備え、家族がどこに集まるか話し合いをしておきましょう。

○風水害に備える

台風や大雨などによる災害のことを「風水害」といいます。台風や大雨は人の力では止めることはできませんが、地震とちがって時期を大体予測することができます。早いうちから用心や準備をすることで災害を防いだり、被害を少なくできます。

＊台風や大雨がくる前に＊

1．テレビやラジオからの情報に注意しましょう。
2．おうちの人といっしょに、非常持ちだし品を備えましょう。
3．むやみに外出しないようにしましょう。